



株式会社 せき製袋
代表取締役 社長

加藤 大博

「お客様が手にした一枚の絞り袋は、誰かに思いを伝えるために使われるかもしれない。だからこそ、高品質なものを届けたいのです」——
半世紀の間、絞り袋を製造し続けている『せき製袋』。
同社の二代目である加藤代表は、手作業で製品を作り続ける理由をそう語った。
そして、それまでなかった検品ラインを工程に加え、不良品を大きく減らしたという。
お客様の喜ぶ顔を見たい——その思いが、代表を突き動かすのだ。

(対談記事は*~*頁に掲載)

**「たかが一枚、されど一枚。
一つひとつに心を込めて作ります」**